

あ・と・が・き

- ★日高の軽種馬育成調教場では、昨年、屋内トラック馬場のクッション砂の入れ替えと準備馬場のウッドチップの入れ替え、1600m 直線砂馬場の路盤改修、滞在厩舎用パドックの砂の入れ替え、屋内坂路馬場の監視モニター設置等を実施し、調教場利用馬の安全確保に努めております。また、調教場利用馬のゴールドシップ号が皐月賞・菊花賞を勝利し、クラシック2冠を達成しました。なお、今月から諸般の事情により馬場使用料が値上げとなりますが、ご理解の程よろしく申し上げます。
- ★当センター研修生は、研修も順調に経過し、精神的にも肉体的にも余裕ができてきた今日この頃です。研修も残すところあと3ヵ月程となりましたが、初心を忘れず、ケガ等に注意し、研修に集中してもらいたいものです。現在は、JRA 育成馬を使っての実戦的騎乗訓練に励み、一流のホースマンを目指して最後の追い込み中です。(Y.H.)
- ★昨年の凱旋門賞、勝利の栄冠が本当に手の届く直前での無念の惜敗。タラレバは尽きませんが、オルフェーヴルらしい負け方といえはその通りです。しかしながら、万全の状態で出走させることができた陣営には、最大限の賛辞を送りたいと思います。今秋、お預けとなった日本馬の勝利へ向けての再挑戦には期待したいものです。ブリーダーズカップターフも然り。
- ★「たづな」、年頭のご挨拶もつけ加えて下さいと、日本ウマ科学会、菅野 茂会長にお願いしたところ、何とかつての私の文章で切り返されてしまいました。さすが会長、吉祥寺の会長行きつけの居酒屋でご依頼したのが悪かったようです。昨年の下げ止まりは、あくまでも大震災からの回復であり、今年こそは真の売り上げ増となりますように、祈念いたすところです。やっと勝馬投票券が買える立場となりました私も、微力ながら3連単で大いに貢献しています。
- ★「調査研究」、「科学の箱馬車」では、昨夏、大盛況でした『生産地における軽種馬の疾病に関するシンポジウム』のメインテーマ、“昼夜放牧管理について”から、総括的な面から JRA 日高育成牧場の佐藤文夫氏に、草地管理の面から日高農業改良普及センターの三宅 陽氏に執筆していただきました。シンポジウムの講演を聴くことができなかった読者の皆さんも参考にしていただければと思います。なお、草地管理については、難解な専門用語が多く、私たち素人にも分かるように注釈をたくさん入れてもらいました。(Y.F.)

BTC ニュース 2013年 第90号

発行日：平成25年1月1日

発行：財団法人 軽種馬育成調教センター 〒183-0024 東京都府中市日吉町1-1 東京競馬場内
TEL 042 (358) 1173(代) FAX 042 (358) 1174 ●ホームページ <http://www.b-t-c.or.jp>

編集責任者：杉本 修

制作・印刷：西谷印刷株式会社

〒135-0022 東京都江東区三好2-1-4 TEL 03 (3630) 2007